

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 口座振替 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- 聖書と聖歌に親しむ。
- ホームページの活用。
- 信徒一人ひとり教会活動に参画しよう。
- 地域との交流促進。

聖語

キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。(エペソ2:22)

敬老感謝礼拝を迎えるにあたって

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに臨んでおられることです。(Iテサロニケ5:16-18)

司祭 ミカエル 小南 晃

この夏、研修会などで講話を聞く機会が2回ほどありました。

一つは8月23日(水)から東京築地の聖路加国際大学で行われた聖公会関係学校教職員研修会において、今一つは8月28日(月)宝塚黙想の家で行われた神戸聖ミカエル教会婦人会主催の「祈りと学び」においてです。

前者の研修会では、聖路加国際病院及び大学のチャプレンが講師を担当された分科会に参加し、「臨床現場におけるスピリチュアルケア」というテーマでお話を聞きました。聖路加のチャプレンの方々には患者さんの心のケアが大切な仕事の一つです。そしてその為の特別な訓練・研修を積んでおられます。分科会ではそのチャプレンの方々から緩和ケア病棟の患者の方々の事例を交えたお話を聞くことが出来ました。

「ごめんなさい」と「ありがとう」

そうした事例の一つとして、60代後半の女性が緩和ケア病棟に入院されていた。その方は元気な頃、家計の維持や家族の世話に有能であり、そのことに喜びと誇りをもっていた。しかし病気によってそうしたことが出来なくなり、さらには色々と世話されること

が必要になって行く自分が受け入れられなかった。夫や成人した子供たちはその女性を大切に思い、喜んで世話をしていたが、その方は「皆に迷惑をかけている」、「申し訳ない」という思いに捉われ、抑うつ状態になっていた。

その方に告げたのは「迷惑をかけることと世話をされることを区別してはどうですか。迷惑をかけた時は『ごめんなさい』と言うけれど、お世話になった時は『ありがとうございます』と言うでしょう。」

チャプレンのこの言葉に女性は「これからは『ありがとう』を言うようにします」と答えられ、実際にそのようにされ、落ち着いて家族やスタッフからの世話やサポートも抵抗なく受け入れるようになり、笑顔も見られるようになったということでした。

この事例は病気によるものですが、病気でもなく、年齢とともに出来ることが少なくなり、他の人の支えやお世話が必要になって来ます。そうした時、迷惑をかけて「申し訳ない。ごめんなさい」ではなく、お世話を受けながら、それに素直に「ありがとう」と感謝して行くことが笑顔を生み、喜びへと繋がって行くという事ではないでしょうか。

「祈り」という大切な務め

宝塚黙想の家で行われた「祈りと学び」では、京都教区の浦地洪一司祭様が「高齢になってからの教会との関わり方」と言うテーマで色々とお話してくださいました。

ここでも教会で様々な活動や奉仕をしてきたのが高齢になって体力及び身体的にそれが出来なくなってくる。そうした時に悲しいといった意見がありました。

それに対して、「祈り」には体力や技術がいるわけではない。祈りは高齢者に与えられた大切な務めであることを話されていました。

また「愛」と言う字について、これは「受」けると言う字の間に「心」が挟まっているように見える(実際は少し違いますが)。そこから「愛」は心で受けるものという話をされていました。先の話と同じく、人々の愛を「ありがとう」と素直に受け入れることも高齢者の役目なのではないでしょうか。

揺るぎない信仰生活の証し

年齢を重ねて行くことは、この世的には持っていたものを失って行く過程のようにも見えます。しかし信仰生活においては、一番大切なものが次第に際立って現れて来るのではないのでしょうか。

ご高齢の方がいつも喜びに溢れ、祈りを捧げ、そして感謝の日々を過ごされる時、それは何よりも信仰生活の揺るぎなさを証しするものとなる筈です。

この時にあたり、殊に敬老感謝対象者の方々へのそうした恵みと祝福がさらに豊かにあることをお祈りいたします。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)